



第 65 号

2020 年 5 月 15 日発行

発行所

社会福祉法人日本キリスト教奉仕団
障がい者総合福祉施設アガペセンター
〒252-0002 座間市小松原 2-10-14
TEL 046-254-7111 FAX 046-255-2915

ホームページアドレス

<http://www.agape-jcws.com>

いっぱい いっぱいの歩みを重ねて

アガペセンター長 田中 誠一

時の流れは早いもので、二十一世紀に入り二〇年目の歩みとなりました。アガペセンターも一九六四年六月身体障害者福祉法に基づく身体障害者授産施設「アガペ授産所」として初めの一步を大地にしるし、五十六年の歩みを積み重ねてまいりました。

五十六年の長きに渡り、この地で障害児・者支援に携わりましたのは、地域住民や企業を始め関係行政機関等のご協力とご理解、並びに利用者やご家族、職員のご尽力の賜物であり、心より感謝を申し上げます。

昨年の流行語大賞は、ラグビーワールドカップを背景とした「ONE TEAM」でした。新型コロナウイルスによつて五十六年ぶりとなる東京オリンピック・パラリンピックの開催が来年となり、数えきれないチームプレイに期待をしています。私達も「ONE AGAPE」を合言葉に法人の目的を果たすべく、日々を大切に一年一年の歩みを進めてまいりますので、引き続きのご指導をお願いいたします。

これからも変わらず ～新年度のご挨拶～

アガペ作業所施設長 坂口 健

アガペ作業所は昨年度より利用者の

皆様により充実した支援を提供できるよう事業所統合・名称変更を行いました。「アガペ作業所」は法人が事業を開始して間もない一九六一年の事業所名であり、約半世紀ぶりにその歴史ある看板を背負い運営をさせていただくこととなりました。当たり前ですが、当時とは対象者もサービス内容も異なりますが、「障がい当事者を社会というメインストリートへ」という思いは今も脈々と受け継がれています。企業などへの就労、アガペを働く場としての社会参加など、利用者にとつての「社会」は様々ではありません。これからも変わらぬ思いで支援していくなどをこの場を借りてお伝えすると共に関係者などへの御礼を持つて新年度の挨拶とさせていただきます。

はじめまして！

基幹相談支援センターです

座間市障がい児・者基幹相談支援

センター（総合相談室室長）

潮田 満

アガペセンター総合相談室では、昨年四月一日より「座間市障がい児・者基幹相談支援センター」の運営を座間市より受託しました。十月一日からは座間市役所からほど近いサニープレイス座間に事務所を構え、本格的に業務を開始しています。

他の相談支援事業所と基幹相談支援センターでは役割が異なる点があります。基幹相談支援センターの主な対象

者が、障がいのあるご本人やご家族ではなく、支援者や関係機関ということ。障がい児・者を「支える人を支える」ことで、結果的にご本人やご家族を縁の下から支えることを目指しています。具体的には相談支援事業所をはじめ、座間市内のさまざまな事業所に訪問して困りごとを伺い、解決に向けて一緒に動いています。私たちの経験や専門性で対応できない時は、基幹相談支援センターが各種の専門機関と連携するパイプ役になります。また座間市の支援機関がみなでレベルアップできるように、研修会等を企画し開催しています。（写真参照）

基幹相談支援センターの活動目標は、障がいがある方もない方も暮らしやすい地域の実現です。何か困ったことがあっても、それが原因で地域から孤立することのない町づくりを目指しています。自立支援協議会の運営をはじめ、障がい分野にとどまらず高齢、教育、医療、就労など、関係機関との顔の見えるネットワークを構築する活動をしていきます。



新 人 紹 介



就労支援課 **為谷 裕司**

- ①映画鑑賞
- ②心にゆとりがあるとき、オンになります
- ③残念なことですが、今のところありません

質問

- ①趣味
- ②あなたのやる気スイッチは？
- ③オリンピック・パラリンピック
で関心のある競技



もくせい園 **金剛寺 賢司**

- ①こどもと卓球
- ②よく寝ること
- ③卓球。子どもからお年寄りまで楽しめるスポーツです



もくせい園 **三澤 直美**

- ①少年野球の観戦・応援
- ②チョコレートのお菓子を食べること
- ③オリンピック：バドミントン・競泳・野球
パラリンピック：陸上競技・テニス



本館生活支援課 **日下 愛美**

- ①ウインドウショッピング
- ②ユーチューブ
- ③あまりスポーツは見ないのですが、陸上競技ですかね



本館生活支援課 **野口 直子**

- ①温泉旅行・映画鑑賞・四季めぐり
- ②準備をし、家を出たとき
- ③バスケットボール



本館生活支援課 **小俣 しの**

- ①寝ること
- ②やる気のある人と接する
- ③開会式



本館生活支援課 **鈴木 誉丈**

- ①映画鑑賞
- ②「ありがとう」のひとつこと
- ③卓球、バドミントン



本館生活支援課 **近藤 愛奈**

- ①映画・舞台鑑賞
- ②香水をつけること
- ③ブラインドサッカー



南館生活支援課 **二神 可奈**

- ①音楽・読書
- ②美味しいコーヒー
- ③陸上



南館生活支援課 **井上 麻衣**

- ①音楽鑑賞・裁縫・友達と出かけること
- ②音楽鑑賞
- ③ポッチャ

壱番館のアスリートたち

生活支援課 反町 仁



卓球大会

ローリングバレーボール大会

体の痛みから思い通りに身体が動かず、辛い時があるとのことですが「動ける限り身体を動かして挑戦したい」とお話されていました。また、オリンピックはとても楽しみで、卓球と陸上を特に楽しみにしているそうです。

杉崎さんは、三十代の頃から車椅子で生活をするようになりました。中学時代はバスケットボール、その後はゴルフなど楽しまれていたそうで、「アルバイトではプロのキャディも経験があるのでですよ。」と楽しそうに当時は語ってくれました。「壱番館に入所する前はリハビリや体操だけで、再びスポーツができるとは思っていませんでした。今ではもつと自分の身体を動かせるようにしたい。勝負に勝つ事は楽しいですが、負けても次にどうするか、何が足りなかったのか考える事で次への楽しみも生まれてきますよ。オリンピックはとても楽しみで全般的に応援しますが、特に水泳や柔道を楽しみにしています。」と語ってくれました。

「動けるうちは動きたい」「動かなくなる事が不安」「自分が動ける限り挑戦したい」

壱番館利用者の杉崎さんと平野さんに代表してお話を聞きました。お二人は卓球、ローリングバレーボール、鳴子踊り、電動車椅子サッカー、陸上競技大会、軽スポーツなど、壱番館で取り組まれている全てのスポーツプログラムに参加されています。脳性麻痺で片麻痺のある平野さんは、小学校三年生の時から野球をはじめ、その後バスケットや陸上競技、卓球などに挑戦してきたそうです。最近では身

壱番館ではお二人以外にも、アスリートがたくさんいます。重度の障害を抱えている利用者さんもいます。しかし、自助具の作成、ルールのアレンジなどを最大限に活かして楽しんで、身体を動かす楽しみ、仲間と共感しあう楽しみを味わってもらえるように、これからも職員、ボランティアが全力でサポートしていきます。

同窓生は今



ひろき 永瀨 大樹 さん

現在のお仕事について教えてください。
私は、特例子会社ウエルシアオアシス株式会社で働いています。仕事は、ドラッグストアの各店舗に行き、お店の窓ガラス拭きや、エアコンの掃除、除草作業などを行っています。体を使う仕事なので、最初は大変だったけど、今は楽しく仕事ができています。

働いて嬉しかったことはなんですか？
掃除をしていて、お客様に「きれいになりましたね。」と言われたことかな。嬉しくて頑張ろうと思ったり、かけになりました。あと自分でお金を稼いで働いて、社会に貢献できることですかね。

初給料はどんなことに使いましたか？
親に何か買ってあげようと思っただんですけど、自分のために使いたくないと言われて、欲しかったゲーム機を買いました。

アガへの利用者さんに一言お願いします。
ここで学んだことや経験は、決してゼロじゃないし、社会に出た時に役に立つと思うから活かしてほしいです。

共に生きる

高座教会 宮城 献

「互いに愛し合いなさい。わたしがあなたを愛したように、あなたも互いに愛し合いなさい。」(ヨハネによる福音書十三章三十四節b c)

イエス・キリストは、互いに愛し合いなさいと教えられました。けれど、ただ命じているのではありません。まず、イエス・キリストが私たちを愛されたのです。そして、愛された者として、互いに愛し合うようにと仰います。「アガペ聖書の会」でも、心を合わせた賛美と聖書の御言葉を通して、イエス・キリストの愛を分かち合っています。そして、愛をたくさんもらって、今度は、私たちが愛する者になっていけたらと願っています。愛され、愛し合う、共に生きる喜びを味わっていきましょう。

2019年度 就労実績報告

「私たちアガへから巣立ちました！」

* 一般企業	事務補助	1名
	製造補助	1名
	水耕栽培	1名
* 大学	事務補助	1名
	事務補助	1名
* 市役所	事務補助	1名
* 特例子会社	製造	1名
	事務	1名

公園清掃について

生活支援員 瀬川 和之

もくせい園では、障害者優先調達推進法によって法人内の事業所が座間市から受注する公園清掃の仕事の一部を行ってきました。しかし、園では雨や暑さを理由に施設外での活動を中止とすることがあり、公園清掃も同様で、利用者さんが関わることが少ない状態が続いていました。昨年度末には、ついに公園清掃の継続の可否が検討されることになりました。

その時に私は気づきました。私たち全ての人の活動の指針となる「ノーマライゼーション」の理念に照らしたとき、これまでの実践はこれに込められていたのだろうか？ という問いです。それは、障害のある人の活動に対してフィルターを掛けていた自分がいました。グリーンマール「普通」の活動を考えたとき、雨



が降っていたら、外が暑かったら外に出ないことは普通なか？ といえ夏は日傘が必須です！

もくせい園 活動報告



こうした思いと利用者さんの顔を思い浮かべながら、続けられると確信した私は「続けたいです。」と継続を提案するに至ります。今も公園清掃は続いています。

決して休まず、いつも楽しそうに活動に向かう利用者さんの姿に「安全であること」以外にも大切なことがあることに気づかされました。

先日は、お母さんに促された子供がゴミを拾って「はい。」と渡してくれ、それを利用者さんが袋を差し出して受け取るという光景にも出会いました！

公園清掃は、利用者さんの自立と地域との繋がりととして、今後も大切に続けていきたいです。

オリンピックと感染症

診療所看護師 塚田 かおり

オリンピック病と呼ばれる、オリンピック開催と同じ年に流行していた病気があります。それはマイコプラズマ肺炎です。しかし、一九八八年以降流行しなくなりました。近年のリオオリンピックの前にはジカ熱が、平昌オリンピックの始めにはノロウイルスが話題になりましたが、懸念されたほどの影響はありませんでした。しかし、今年新型コロナウイルスの感染が拡大し、ついにオリンピックが延期されることになりました。オリンピックは一年先の開催に決まりましたが、その頃には何の心配もなくなるわけではないでしょう。コロナウイルスが終息したとしても、たくさんの方が訪れることにより、日本にはない病原菌が持ち込まれる危険もあります。オリンピック関連機関と民間の医療機関がいろいろなことを想定して対策します。厚生労働省や神奈川県、健康医療局、東京都の福祉保健局などが情報を発信しますので、指導を聞き入れるようにし、安心してオリンピックを楽しむようにしましょう。



ご支援ご厚意に感謝いたします

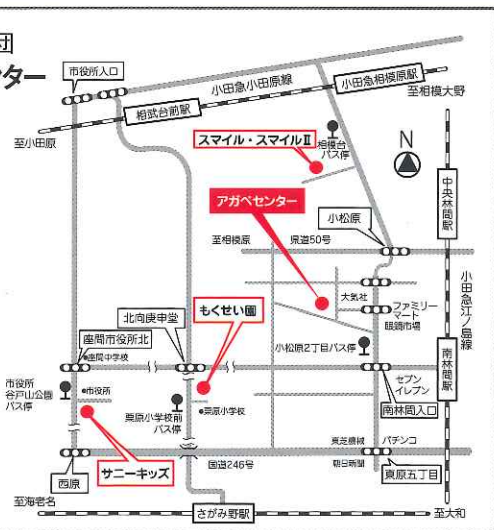
《献金者》 二〇一九年四月一日から二〇二〇年三月三十一日までのご献金分

- 高橋 武弘様 新宮 綾子様 中山 善夫様
- 村山 鐵郎様 鎌田 直彦様 中塚 正彦様
- 匿名希望者様二名

ご指定いただいた寄付金は、アガペセンター設備機器充実のため有意義に活用させていただきます。

《寄贈者》

コストコホールセールジャパン株式会社様



- 社会福祉法人 日本キリスト教奉仕団
障がい者総合福祉施設 **アガペセンター**
- 障がい福祉サービス事業所 **アガペ作業所**
 - 障がい者支援施設 **アガペ番館**
 - 障がい福祉サービス事業所 生活介護事業 相談支援事業(総合相談室) **アガペサポートセンター**
 - 障がい福祉サービス事業所 **座間市立もくせい園** (〒252-0014 座間市栗原中央6-7-27)
 - 児童発達支援事業 **座間市サニーキッズ** (〒252-0021 座間市緑ヶ丘1-2-1 総合福祉センター(サニープレイス)内)
 - 障がい者グループホーム **スマイル** (〒252-0001 座間市相模が丘2-32-24)
 - スマイルⅡ** (〒252-0001 座間市相模が丘2-32-2)

※写真は関係者承諾の上、使用しています。